

# 東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会  
責任者 藤城 弘子

## 五月号



今日  
○平成十二年薬劑師国家試験結果  
○新薬学部長就任  
○後期学生大会回答

○平成十二年入試結果発表  
○教育棟四号館新設  
○カリキュラム変更

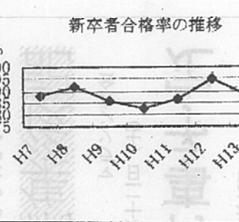
## 第八十六回薬劑師国家試験結果

先日、第八十六回薬劑師国家試験の結果が、発表された。平年と比べ難化傾向の様。本学では数年ごとの増減はあるが、前年度の合格率を大きく下回り全国第九位となる。

第八十六回薬劑師国家試験の結果が先月十八日に発表された。詳細については左表の通りである。十二年度新卒者の平均合格率は約八十八%で前回と比較して約七%減少した。これは全国平均を約四%上回ったものの、全国の私立大で第七位、国公立大を含め

た総合順位においては、第九位となり前回を下回る結果となった。また、全体的に合格率の減少が見られ、全国(国公立大、私立大も含め)の総合合格率も前回と比較して四%減少となった。このことから、前回と比べて今回の国家試験の難易度が高くなったこと

とが伺える。本学においては、女子合格率の低迷が悔やまれる。昨年度も本学では一昨年度と同様、学力別A・B二コース編成が行われた。この試みは、前回良い結果をもたらしたが、今回はそれをおよそ八%ほど下回る結果となった。また合格率は数年ごとに増減を繰り返しており、高い合格率を維持するのは非常に難しいことが分かる。前回に比べて合格率は大幅に減ったものの、過去全体から見れば平均に落ちついたと言える。



年度	H11	H12	H13
本学合格率	86.65	94.93	88.31
新卒	50.66	51.79	29.13
既卒	77.67	82.47	76.63
私立大合格率	87.09	89.28	84.79
新卒	55.30	57.17	51.91
既卒	78.75	81.52	77.30
全国合格率	86.15	79.95	84.08
新卒	63.29	47.06	48.77
既卒	77.10	79.91	75.90

薬学部補交代教授より今回の結果と、これからの見通しについて意見を頂いた。ろです。創薬も医療も早いテンポで変化しています。薬学部のカリキュラムはそれに対応でき、リワードして行けるものになるかと思っています。

## 新薬学部長就任インタビュー

### 土屋晴嗣教授



土屋晴嗣教授

今年度から土屋晴嗣教授が薬学部長に就任された。そこで、抱負や今後の薬学部の展望などについてインタビューを行った。

Q 新学部長としての抱負をお願いします。  
A 薬学部には解決すべき問題がたくさんあります。その一つに卒業生や留年生の

問題があります。どうすれば基準を下げずに、学生の成績を良い方向へ平行移動させることができるか。執行部を中心として全ての先生方に協力してもらい、取り組んでいきたいと考えています。

Q これからの薬学部の展望をお聞かせ下さい。  
A 時代のニーズに応えるべく、薬学部の再構築問題が上がっています。昨年より学長を中心として薬学部の先生方が討議を重ねてきました。先日その答申書が提出され、詳しい説明が行われていること

Q これからの薬学部の展望をお聞かせ下さい。  
A 時代のニーズに応えるべく、薬学部の再構築問題が上がっています。昨年より学長を中心として薬学部の先生方が討議を重ねてきました。先日その答申書が提出され、詳しい説明が行われていること

Q これからの薬学部の展望をお聞かせ下さい。  
A 時代のニーズに応えるべく、薬学部の再構築問題が上がっています。昨年より学長を中心として薬学部の先生方が討議を重ねてきました。先日その答申書が提出され、詳しい説明が行われていること

Q これからの薬学部の展望をお聞かせ下さい。  
A 時代のニーズに応えるべく、薬学部の再構築問題が上がっています。昨年より学長を中心として薬学部の先生方が討議を重ねてきました。先日その答申書が提出され、詳しい説明が行われていること

順位	大学名	新卒者合格率
1	北海道大学	92.65%
2	北里大学	92.46%
3	神戸大学	92.11%
4	北海道薬科大学	91.98%
5	福山大学	91.97%
6	北海道医療大学	90.43%
7	九州大学	89.19%
8	昭和大学	88.60%
9	東京薬科大学	88.31%
10	千葉大学	87.18%

「現在、国試験委員会が合格者状況の詳細な解析を行っています。この委員会の報告を得て合格率減少の理由を明らかにして、今後の教育に活かしていくことになりました。現時点での感想として、新卒女子の不合格者が、前回は一名であったのに対し今回十六名に増えたのは、寂しいことです。」

## 後期学生大会

### 回答

平成十二年後期学生大会の決議がなされた。要望書に対する大学側の回答の要点は以下の三点である。

●「多摩センター行きバスのダイヤ改正について」  
平成十三年四月より、新ダイヤによるバス運行が行われている。また、他の路線については四月十日から十三日にかけて行われた、乗車状況の調査結果に基づいた見直しを行う。

●「図書館でのコピーカード販売について」  
現在、コピーカードは生協が管理している。収支及びメンテナンスの関係から大学側は、現状通りコピー機の管理を生協に任せる予定である。

## 『汚名アックレッド・ヒッ』展

### 現代美術展

東京オペラシティアートギャラリーにて六月十七日まで。金・土は二十一時。その他二十時閉館。入場料一一般千円、大学生八百円。

## 薬味

### 星月の綺麗な季節になった。

「中秋の名月」のような、月の美しさを称える名称がないこの季節ではあるが、新緑の中若葉の間から見える月は、はっとするほど美しい。そんな月だが、月と人間の行動に関して面白い調査結果がある。満月や新月の夜には犯罪発生率が高くなる、というものがだ。月を英語で「ムーン」と呼ぶのは月や常態だが、ローマ神話では月を女神「ルナ」と呼ぶのはあまり知られていない。そして、英語で狂気や精神異常を意味する単語は「ルナシー」、「ルナティック」など、月に関連していることが多いのである。昔の人は、狂気は月の満ち欠けにより引きおこされると信じていたのだ。古くから伝わる物語の世界から私達の生きるこの世界まで、月にはマイナスイメージが結びついてきている。そんなイメージの元になるのは、毎晩不思議な満ち欠けを繰り返す、月への「恐怖」や「畏怖」だったのでは無いだろうか。満月の夜に夜空を駆ける吸血鬼、そして新月や満月の夜に何かに触発されているかのように多発する犯罪など、月の作り出す世界はそんなイメージを裏付けている。★そう考えると、今までの感動もよく眺めていた月をまた違う観点で眺められるのではないだろうか。桜の季節は過ぎ去ってしまったが月を見ながら葉の下を歩くのもまた、風流かもしれない★月には女性を象徴するという説もある。ラットカードの占いなどで知っている人もいんだらう。どちらも魅力溢れる存在ではあるが眺める時にはくれぐれも、魅入られず、このように・・・(栗)

東京薬科大学 薬学部 生命科学部

平成13年度 入試動向

—平均点・倍率ともに高く、相対的に難易度は例年どおりの展開—

平成13年度入試結果

薬学部(男子部)	募集人数	受験者数	合格者数
一般推薦	50	189	50
一般A方式	20	992	151
一般B方式	145	1731	304
薬学部(女子部)			
一般推薦	50	315	51
一般A方式	20	828	134
一般B方式	80	1171	214
生命科学部(分子)			
一般推薦	25	63	28
一般A方式	10	892	167
一般B方式	55	906	153
一般C方式	10	290	11
生命科学部(環境)			
一般推薦	18	29	19
一般A方式	7	287	84
一般B方式	30	284	57
一般C方式	5	162	7

先日、本学の平成十三年度入試結果が発表された。結果は左記の通りである。

薬学部では推薦入試において指定校制、公募制ともに募集人数を増やし、来年も枠が広がる予定である。これは、薬学部志望者の増加に伴う高校からの強い要望によるものである。それに関連して、B方式の募集人数を減らした。また、合格最低点に関しては左記のグラフからわかるように近年、変動の激しさが伺える。特に今年女子部A方式を除く全てにおいて倍率が上がった。

生命科学部では、入試は昨年と同様のシステムで実施された。志願者数は昨年と比較すると両学科共にA方式(センター)では減少したが、C方式(一般)では増加した。しかし合格者数に変動はほとんど見られぬ。また、入試自体の難易度は昨年よりもやや高くなったようである。

今回の記事を書くにあたって、薬学部の補文代教授と生命科学部の井口和男教授より新入生に対してそれぞれ一言頂いた。

補文代教授 「近年、薬剤師に期待が高まっており、必要とされる知識も増えている。また、患者さんと接するために、人として色々な経験も要求される職である。学生時代の今、やるべきことはやるというメリハリをつけて、大学生活を楽しく送ってほしい」

井口和男教授 「東京薬科大学における教育と研究は、国立大学に比べても遜色ありません。これからの四年間で、力がつくかどうかは学生自身にかかっています。」

カリキュラム変更

薬学部・生命科学部 今年度からの

今年四月から薬学部、生命科学部の両学部でカリキュラムの変更が行われた。詳細は以下の通りである。

◎薬学部◎

一年次には、必修科目として「ゲノム科学」(一・五単位)が新たに加わった。その理由は、現在ゲノム科学の進展が著しく、薬学生にとって基本的理解が必要不可欠と考えられたためである。また従来の「ドイト語I」の講義と文法が一つになり、新たに「ドイト語I」(二単位)と

変更になった。三年次では昨年度「三単位であった「天然医薬品化学」が一・五単位となり、昨年度選択科目であった「和漢薬学」が必修科目となった。これには、従来選択科目であった際に学生の関心が非常に高かったことが背景にある。

四年次では、昨年度卒業論文七単位の中心、一単位を占めていた「病院実習」が選択科目で三単位となった。

そのほか、実習においても科目名変更があった。二年次の「動物学・微生物学」

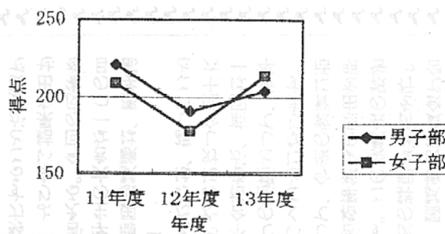
が「微生物学」と「動物学・免疫学」となった。また三年次の「生化学・放射薬品学」が「生化学・放射薬品学」(a)と「生化学・放射薬品学」(b)と変更された。

◎生命科学部◎

生命科学部では、現三年生が一年生のときから推進されてきた新カリキュラムへの移行が今年度で完成する。この移行は、次の三項目を理由に行われている。第一に生命科学において必要とされる基礎的講義のさらなる充実を図るため、第二に社会からの直接

的講義のさらなる充実を図るため、第二に社会からの直接

薬学部B方式合格最低点(300点満点)



的な要請に対応するため、そして第三に学生のニーズに合わせるためである。

今年度の具体的な変更点は三年次において二点ある。一点目は、「薬理学概論」が新設されたことである。この講義は、薬学部の第二薬理学教室から向後博司教授を招いて行われる。この背景として、生命科学部でも卒業後の進路として製薬企業を志望する学生が多いことが挙げられる。二点目は昨年度選択科目だった科学英語が必修になったことである。

以上が今年度のカリキュラム変更である。

研究室再編成

今年、新たに生命科学部の二研究室と、薬学部の三研究室の再編成が行われた。詳細は次の通りである。

- 生命科学部
- ・変更
    - 心理情報科学研究室 (田村正農教授)
    - 生物情報科学研究室 (肥後順一教授)
  - ・新設
    - 環境動態化学研究室 (貝瀬利一教授)

薬学部

- ・変更
  - 薬剤製造学研究室 (岡田弘晃教授)
  - 製剤設計学研究室 (岡田弘晃教授)
- ・第二生薬学研究室 (馬場広子教授)
- 機能形態学研究室 (大野尚仁教授)
- 第一微生物学研究室 (大野尚仁教授)
- 免疫学研究室 (大野尚仁教授)

教育四号館新設

本学創立百二十周年記念事業の一環として現在、教育四号館が建設されている。この施設は七月三十一日に完成し、後期授業開始時から使用可能となる予定だ。

教育四号館は全床面積およそ千五百平方メートルに、七室の講義室を設けた三階建てとなっている。四号館には、洗面所はないが各階が三号館と繋がっているため、特に問題は無いだろう。

講義室は一、二階の一〜四講義室が各百六十人、三階の講義室が各二百人、六・七講義室が各六十人収容可能である。また、今後パソコンや

インターネットを使用する講義の増加が予想される。これを受けて全ての講義室に収容人数分の半数のモジュールとコンセントが設置されており、自分のパソコンを持ちこむことが可能となる。教卓には一、二階を主に薬学部生が使うためウィンドウズパソコンが、三階は主に生命科学部生が使うためマッキントッシュパソコンが設置される。さらにAV機器も既存の講義室のものより強化されていて、各講義室にプロジェクターとDVDプレイヤーが設置される。その他、ハルモニオ管弦楽団の練習場として一部利用される予定となっており、これらの講義室は、三階の大講義室を除いては机と椅子が可動式となっている。

これからは、情報化に対応した設備が続々と増えていくだろう。しかし我々が使いこなせるようにならないければ施設拡充も意味がない。施設利用規約を厳守し、学業やクラブ活動を充実のためにこれらの施設を積極的に利用してほしい。

なお、各実習室の場所に関してはキャンパスライフを参考にされたい。

行事予定

五月十日(土)

マラソン大会

五月十一日(日)

編集後記

井仕事やったのかな。上がって良かったです。(健)

漢字の勉強しなきゃ。(若)

七・リーグの優勝は中日ドラゴンズだ!!。(鉄太郎)

健康エソナか!!。(鉄太郎)

大変だったな〜今回(D)

☆夢魔の紡ぐ甘美な夢を、下初菜味は疲れたっす(雨野)

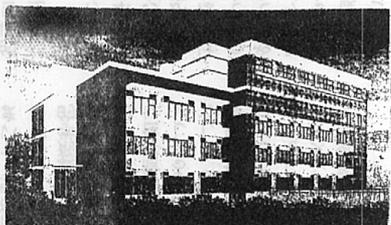
↑アフリカのスクーターで栃木から自主予定(GO)

●嗚呼終われ、嗚呼また始まる。あと五号。(淳き世)

☆こんなに近くにいるのに、何故か、見えなくなったりすることがある。(ハニ)

♪麻黄色の黄昏。(兄弟)

☆無敵な努力で完成が運れてしまった。これもハイパーアウトラインのせいだ。編集長君、ごめんナサイ。(半生)



▲左側教育棟4号館鳥瞰図